

神奈川県民ホール本館再整備基本構想素案に関する パブリックコメント意見について

1 パブリックコメント実施概要

- ・ 意見募集期間 2025年12月10日（水）から2026年1月12日（月）まで
- ・ 意見提出者数 16者
- ・ 意見数 63件

2 パブリックコメント意見分類

	区分	延べ件数
1	第1章 文化芸術及び文化施設の動向	1
2	第2章 県民ホールの現状と課題	0
3	第3章 県民ホールのあり方に関する県の検討状況	2
4	第4章 理念と方針	6
5	第5章 管理運営	9
6	第6章 施設整備	38
7	第7章 期待できる県民生活への効果	1
8	第8章 その他	4
9	その他	2
	合計	63

3 基本構想素案への反映状況

	反映区分	延べ件数
A	基本構想に反映したもの（一部反映したものを含む）	12
B	既に基本構想に盛り込んでいるもの	10
C	今後の取組の参考とするもの	33
D	基本構想に反映できないもの	2
E	その他（感想、質問等）	6
	合計	63

4 主な意見（ChatGPTにより要約して抜粋）

（1）バリアフリーの徹底に関する意見

- ・ 知的・視覚障がいだけでなく、聴覚障がい団体もヒアリング対象に加え、計画段階から実効的な参画を可能にする仕組みを構築してほしい。
- ・ 舞台音声を明瞭に聞ける「Auracast」のような最新の補聴システムを導入し、費用対効果を考慮した鑑賞環境を整備してほしい。
- ・ タブレット端末に依存せず、舞台上に字幕を表示・投影する設備を導入し、インクルーシブな鑑賞環境を実現してほしい。

（2）交流機能に関する意見

- ・ 横浜港の景色を楽しみながら、安価な庶民的和食や軽食を味わえる施設を設け、日本文化に触れられる場を整備してほしい。外国人観光客や地元住民が気軽に利用できる魅力的な飲食空間を併設すべき。
- ・ 3階席ホワイエの眺望を活かし、展望目的で自由に入場できるスポットとして整備し、訪れた人々に記憶に残る空間を提供してほしい。

（3）施設計画・設計等について

- ・ 山下公園や中華街に隣接する立地を活かし、横浜の印象に残るシンボリックな施設としてデザインを検討すべき。
- ・ 再整備では過去の文化施設運営の知見を活用し、実際の運用をシミュレーションすることで機能を十分に発揮できる計画を求める。
- ・ 限られた予算内での取捨選択が必要。1,000以下の大ホール利用が課題であるなら、中ホール新設するのではなく、既存施設のネットワークを活用する方が現実的である。

（4）快適性や利用のしやすさに関する意見

- ・ 前の人の座高や姿勢に左右されず、舞台が見やすい座席配置を設計してほしい。
- ・ 女子トイレの数を増やし、休憩時間内に利用可能な環境を整備してほしい。

（5）バックヤードの利用のしやすさに関する意見

- ・ 大ホール、中ホール、ギャラリーそれぞれに独立した搬入口を設計し、搬入作業を効率的に進められる環境を整えてほしい。

（6）文化の継承に関する意見

- ・ パイプオルガンは音楽文化を支える貴重な資源であり、演奏可能な状態で存続させるべき。多くの人々に癒しを与える存在として活用し続ける必要がある。
- ・ パイプオルガンの設置には、運用や費用面での課題があるため、限られた予算内での取捨選択を検討し、現実的な対応を進めるべき。

（7）今後の計画・設計に関する意見

- ・ 新ホールの計画が多くの意見を反映して進められている点に安心している。基本構想に賛同し、一刻も早い再建を望む。